



# 学校だより

5月号

【か】よくかんがえ 【な】なかよく 【が】がんばる 【わ】わたしたちかなっ子

神奈川小公式WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kanagawa/>

令和4年4月28日

横浜市立神奈川小学校

## 「こどもの読書週間」と読書習慣

校長 田名部 和美

子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日は「子ども読書の日」と定められています。またこの日から5月12日までが「こどもの読書週間」となっています。大人が読書を子どもに勧めるだけでなく、本を手渡す、読み語ることを習慣にして欲しいという願いを込め、2001年から始まったそうです。

本校でもこの読書週間の取組として、朝読書の時間に担任が本の読み聞かせをしました。本の近くに集まって、話に夢中になっている子どもたちの様子を見ていると、「活字離れ」が叫ばれて久しくなりますが、読書することのよさをもっと伝えていきたいなと思います。

少し前になりますが、スマートフォンやインターネットで情報を大量に集めるスキルがあっても、読書をしている人が集めてくる情報の質にはかなわないという番組を見ました。

- ・漢字や文法に詳しくなる、知恵が増える
- ・想像力が鍛えられる
- ・関心や興味の幅が広がる
- ・集中力が付き、大人になっても忍耐力が養われる
- ・今後役に立つ情報を得ることができる
- ・人の気持ちを理解できたり、考えたりする力がつく
- ・自分の中に蓄積された知識がアイデアとしても活かされる



読書にはこのように多くのメリットがあると言われています。また、文部科学省がおこなった「親子の読書活動等に関する調査」では、小学校高学年まで読み聞かせをした子どものほうが一か月の読書量が多い傾向がみられるという研究結果が出ました。読み聞かせを続けることは、大きな影響を与えることが分かります。本との出会いは様々です。読み聞かせがきっかけになることもあれば、友達の読んでいる本に興味を示して読み始めることもあるでしょう。また、大人と一緒に本を読むことも、子どもの読書習慣につながるそうです。学校でも朝読書の時間は、担任も一緒に読書をしています。月に一度は各学級で読み聞かせを行っています。

ご家庭でも、読み聞かせをしたり、一緒に読書する時間を作って感想を交流したりしながら、この読書週間を子どもたちの読書習慣につながるようなきっかけとしていただければと思います。